

2015年9月1日

各 位

不動産投資信託証券発行者  
日本ロジスティクスファンド投資法人  
代表者名 執行役員 川島 高之  
(コード番号：8967)

資産運用会社  
三井物産ロジスティクス・パートナーズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 川島 高之  
問い合わせ先 財務企画部次長 関口 亮太  
TEL.03-3238-7171

### 資金の借入に関するお知らせ

日本ロジスティクスファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、2015年9月1日、下記の通り資金の借入を決定しましたのでお知らせします。

#### 記

##### 1. 借入の理由

2015年9月1日に公表した「国内不動産及び国内不動産信託受益権の取得及び貸借に関するお知らせ（4物件）」に記載した不動産及び不動産信託受益権（4物件、取得価格合計：8,848百万円）（以下「新規取得資産」といいます。）の取得資金及びこれに関連する取得費用の一部に充当するため。なお、当該借入金については、新投資口発行の手取金（一般募集）により返済する予定です。新投資口発行の詳細は2015年9月1日に公表した「新投資口発行及び投資口売出しに関するお知らせ」をご参照ください。

##### 2. 借入の内容

借入先	借入金額	調達金利	期間	借入日	返済期日
三井住友信託銀行 株式会社	2,000百万円 (注1)	全銀協1か月 日本円 TIBOR (注2) +0.20%	15日	2015年 9月10日	2015年 9月25日
三菱UFJ信託銀行 株式会社	2,000百万円 (注1)				
株式会社 三井住友銀行	1,000百万円 (注1)				

(注1) 2014年8月1日付コミットメントライン契約に基づく借入です。

(注2) 全銀協日本円 TIBOR については、一般社団法人全銀協 TIBOR 運営機関のホームページ (<http://www.jbatibor.or.jp/rate/>) でご確認ください。

ご注意： この文書は、本投資法人の資金の借入に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。

(注3) 全て無担保・無保証・期日一括返済です。

(注4) 新規取得資産の詳細は以下のプレスリリースをご参照ください。

2015年9月1日付「国内不動産及び国内不動産信託受益権の取得及び貸借に関するお知らせ（4物件）」

### 3. 新規取得資産取得後の有利子負債の状況

(単位：百万円)

	本件実行前 (2015年9月1日現在)	新規取得資産取得後 (2015年10月1日現在)	増減
短期借入金残高	—	—	±0
長期借入金残高	57,700	57,700	±0
(うち1年内返済予定額)	1,700	2,700	+1,000
借入金残高	57,700	57,700	±0
投資法人債残高	14,000	14,000	±0
(うち1年内償還予定額)	8,000	8,000	±0
<b>有利子負債残高(注1)</b>	<b>71,700</b>	<b>71,700</b>	<b>±0</b>
保有物件の鑑定評価額合計(注2)	248,938	259,048	+10,110
LTV(注3)	28.8%	27.7%	△1.1%
長期負債比率(注4)	86.5%	85.1%	△1.4%

(注1) 新規取得資産取得後における有利子負債残高は、以下の計算式により求めた見込数値です。

有利子負債残高=2015年7月期(第20期)末現在の有利子負債の総額+

2015年7月期末日から新規取得資産取得後までの有利子負債の増減見込額

なお、有利子負債の見込額が変動する可能性があることについては、下記(注3)をご参照ください。

(注2) 保有物件の鑑定評価額合計は、以下に従い算出しています。

本件実行前：2015年7月期末算定評価額合計

新規取得資産取得後：2015年7月期末算定評価額合計+

新規取得資産の鑑定評価額合計(価格時点：2015年7月31日)

(注3)  $LTV(\%) = \text{有利子負債残高} \div \text{保有物件の鑑定評価額合計} \times 100$

なお、本投資法人は、2015年9月1日に公表した「新投資口発行及び投資口売出しに関するお知らせ」に記載した一般募集(以下「一般募集」といいます。)における発行価額の総額及び第三者割当(以下「本第三者割当」といいます。)における発行価額の総額として、それぞれ9,852,000,000円及び518,000,000円を見込んでいます。また、上記金額は2015年8月24日(月)現在の株式会社東京証券取引所における本投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。また、本第三者割当については、発行数の全部についてSMB C日興証券株式会社により申込みがあり、発行が行われた場合を前提としています。したがって、一般募集及び本第三者割当における実際の発行価額が上記仮定額よりも低額となった場合又は本第三者割当における発行数の全部若しくは一部について申込みが行われず、発行が行われなかった場合には、新投資口発行による調達額は上記よりも減少することとなり、その結果有利子負債の見込額が増加することがあるため、実際のLTVは上記よりも高くなる場合があります。逆に一般募集及び本第三者割当における実際の発行価額が上記仮定額よりも高額となった場合には、新投資口発行による調達額は上記よりも増加することがあり、その場合には、有利子負債の見込額が減少するため、実際のLTVは上記よりも低くなる場合があります。

(注4)  $\text{長期負債比率}(\%) = (\text{長期借入金残高(1年以内返済予定額を除きます。)} +$

$\text{投資法人債残高(1年以内償還予定額を除きます。)}) \div \text{有利子負債残高} \times 100$

(注5) LTV及び長期負債比率は小数第2位を四捨五入しています。

ご注意： この文書は、本投資法人の資金の借入に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びに訂正事項分(作成された場合)をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。

#### 4. その他

本件借入の返済等に係るリスクについては、2015年9月1日に提出した有価証券届出書記載の「投資リスク」をご参照ください。

以 上

※ 本投資法人のウェブサイト <http://8967.jp/>

ご注意： この文書は、本投資法人の資金の借入に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売届出目論見書並びに訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。